

P T A 執行部 8 名、P T A 各学年選出役員 36 名、P T A 生活安全部員 24 名、学校評議員 4 名 計 71 名に評価を依頼しました。回収率は 54.9% です。

## 1 『樹木(グランドデザイン)の年輪(幹)となる教科の学習・ときめき学習・特別活動・道徳等の教育活動を実践して成果の見られた具体的な内容』

### (1) 一人一人に確かな学力を付ける「教科の学習、ぐんぐんタイム、T・T」

- ・ 中里村の児童生徒にもっとも必要なのは、家庭学習の定着であることに賛成である。
- ・ 家庭学習は、宿題と自主勉強で大変な面もあったが、3 学期になってからは自然に身に付いてきたようだ。
- ・ 3 学期に入ってから、自主学習が本当の自主学習となり、「やりなさい。」と言わなくてもやっている。
- ・ 家庭学習の習慣が付いて、確かに学力が向上してきたと思う。毎日の繰り返しだが、自分で学習内容を考えていく姿は立派だと思う。
- ・ 自主学習の定着が見られた(短時間ではなく長時間)。
- ・ 宿題をする以外は、ゲームをやっていることが多い。宿題以外の学習をどうやってやらせればいいのか分からない。
- ・ 毎日の自主勉強の成果が、計算・漢字テストに表れたりして、子どもに刺激があっていいと思う。
- ・ 学習によって、学年を 3 グループに分け、一人一人自分に合ったコースを選べるので、子どもも理解しながら学習できよかった。
- ・ TT、ぐんぐんタイムなど、工夫を凝らした取組で、学力は確実に向上してきていると思う(数字でも表れている)。テスト当日の朝など、自分一人で早起きして勉強するなど、頑張る姿も見られた。勉強は分からないとつまらない。でも分かっていたらおもしろくなる。おもしろくなればもっとやりたがる。そんな好循環を生んでいるものと思われる。
- ・ 6 年生の習熟度別学習は、とても効果的だったと思う。子どもにとっても先生方にとっても利点が多かったのではないだろうか。

### (2) 郷土に学び、自己の生き方を考える力を付ける「ときめき学習」

- ・ ときめき学習などで七川荘や工房などでたくさんの方を教えていただいて、交流を深めることができ、施設の方々にも、田沢小の子どもたちの交流がとてよくなってきた、最後には泣けてきたなどのお褒めの言葉をいただいた。年を重ねるごとに、もっとすばらしい交流ができるよう頑張ってもらいたいと思う。
- ・ 学年全体のグループ学習は、かたよった友達関係にならずによかったと思う。
- ・ ときめき学習ステージ発表では、まとめる力やグループでの協力や思いやりなど、すばらしい力が身に付いたと思う。

### (3) 様々な人とかかわる力を付ける「特別活動」

- ・ ときめき学習ステージ発表を見て、どの学年の子どもも大きくはっきりと発表していた。大変立派だった。大勢の前であのようにしっかりと発表できるという点をこれからも伸ばしてほしい。自分たちはしっかりと学び、感じ、考えたということが自信となって、あのようなすばらしい発表になったのだと思った。
- ・ ときめき学習ステージ発表は、とてもすばらしく、堂々と発表ができていたと思う。このような機会は大切だと感じた。
- ・ ときめき学習ステージ発表では、各学年の成長を感じた。
- ・ ときめき学習ステージ発表では、一年間学習した成果と発表のために練習した成果が表れ、

- とても感動した。子どもにとって、とても大きな自信につながったと思う。
- ・ ときめき学習ステージ発表は、最高にすばらしかった。毎年実施してほしい。
  - ・ ときめき学習ステージ発表は、堂々としていて声も大きく、全員とてもよい姿勢でびっくりした。
  - ・ 発表会が近付いてきたら、子どもたちもはりきり、友達が困っていると教えてあげる姿が見られ感動した。
  - ・ ときめき学習ステージ発表は、最高だった。どの学年も特色ある発表だった。はきはきと、そして感情豊かに発表し、見に来ていた人に感動を与えてくれた。
  - ・ たくさんの地域の方々の御協力があつてのぼぷら祭りだったと思う。親でさえなかなか教えることのできないようなことも、教えていただけて大変感謝している。これからも続けていただきたい。
  - ・ ぼぷら祭り等を見ると、高学年がリーダーシップをとり、まとまりができていていると思う。
  - ・ ぼぷら祭りでの地域のワークショップは、子どもだけではなかなかできないものが用意されており、楽しく体験することができた。
  - ・ ぼぷら祭りの地域のワークショップは、これからも続けていってほしい。
  - ・ ぼぷら祭りの地域のワークショップは、楽しく地域の方も気軽に参加できるのでよかった。
  - ・ ぼぷら祭りは、各教室とも熱気にあふれ、子どもの自信をもった発表が印象的だった。
  - ・ ぼぷら祭りの地域のワークショップに、もっと多くの方から積極的に参加していただけるよう、PTAと学校の今後の課題が残った。新しい方向に歩き出した今、御理解をいただき、子どものために、皆様から参加していただけるよう、今後も手伝いができればと考えている。
  - ・ ぼぷら祭りの地域のワークショップは、2回目にもかかわらず内容が偏ってきたり、出店等にも苦労していたようで、今後が少し心配だ。
  - ・ 村民スキー大会への参加は、学校全体としての行事になってきたと思う。しかし、他校と比べて練習量が少ないような気がする。中学年を見る限り、数回の練習であつという間に大会になる。家庭で練習させたいと思っても、スキーもなくルール等も分からず、なかなかその機会をもてないのが現状である。この地域は、全国的に見てもクロカンのレベルが高いので、田沢小学校ももっと力を入れてほしい。
  - ・ 課外体育は、早くから始めて子どもも大変だったけど、水泳、陸上、スキーとも徐々に力が付き、集中して練習に取り組むことができたのでよかった。
  - ・ 各種スポーツは、他校より子どもの数が多く、指導も大変だと思うが、応援の仕方、団体行動力がもっと伸びていけば、「粘り強くやりぬく子」につながっていくのではないかな。
  - ・ 他校より運動面で活躍が少ないように思う。もう少し運動面の力を付けさせたい。
  - ・ 運動会のヨサコイソーランは続けてほしい。見ていてきれいだし、かっこいいし、すばらしい踊りだと思う。
  - ・ 雨を全員の力ではじき返した運動会。自己ベストを目指した各種競技大会。大きな声で堂々と発表したぼぷら祭りとときめき学習ステージ発表。子どもたちと学校、先生方の熱い気持ちひしひしと伝わってきました。田沢小学校の幹は着実に太く強くなってきていると思う。
  - ・ どの行事でも、子どもたちのがんばりに感動させられた一年間だった。
  - ・ にこにこ班が楽しらしく、「班長がさあ。」等時々楽しそうに教えてくれる。いろいろな学年の子とかかわっていていいことだなと思う。

#### (4) 豊かな心・道徳的実践力を付ける「道徳」

#### (5) グランドデザインには盛り込まれていないが、樹木の年輪を刻むその他の教育活動

2 『樹木を育てる太陽・雨となる教育環境(整備)、学校とそれを取り巻く様々な団体・人との連携を实践して成果の見られた具体的な内容』

##### (1) 学校図書館の整備

- ・ 年間33,000冊という目標があることによって、本にも親しみやすくなる。

- ・ 夏休みの図書室開放はよかった。
- ・ 2年生は、読み聞かせを始めてから本に興味をもつようになったと思う。集中力もかなり付いてきているように思う。
- ・ 本を読むことは大切だが、多く読むだけでなく、内容を理解し、また想像力を付けることも大切だと思う。数だけをこなしているのは、うちの子だけだろうか。
- ・ 先日我が子が本を借りてきた。見ていたところ、本を開いた様子がないので、どんな内容だったか聞いてみたがあやふやな答えだった。本を借りた数 = 読んだ本の冊数になっていない。
- ・ 目標に達することができなかったものの、自分の子どもだけなのかもしれないが、速く本を読むようになったと思う。
- ・ 子どもたちが、自分が気に入っている本を紹介していたり、いろいろなタイプの本があるらしく、私の子どもは本を読むことが得意ではないが、楽しそうである。
- ・ 全校で33,000冊という明確な目標を掲げたことは、とてもよかったと思う。我が子の年間読書量は約180冊。義務的に読んでいるのではなく、すべての本に対して興味深く夢中になりながら読破していた。読解力が向上し、未学習の漢字も覚えることができた。活字離れしている現代社会だからこそ、読書習慣はきわめて重要だと思う。
- ・ 子どもたちは、図書室は読む本のあるところというイメージがあると思う。分からない問題があっても、図書室に行けば解決できることをもっと教えてやってほしい。
- ・ 図書室に、家でも買って与えた本があることに子どもが気づき、それをきっかけに読み始めてすっかりはまっているみたいだ。
- ・ 本を借りてきても、読まずに学校に持って帰ることが多いように思う。家で読書の時間をとりたい。

## (2) コンピュータ等の教材・教具の準備

- ・ 最初はパソコンに恐怖心を持っていた私の子どもも、何度かのパソコン授業で楽しさが分かったようだ。「今日はこういうことをしたんだよ。」とうれしそうに教えてくれるようになった。
- ・ 子どもは、パソコンに関心があるようだ。学校でパソコンに触れる時間を多く設定してほしい。
- ・ パソコンについては、今まで機械には見向きもしなかったのが、「学校にもあるよ。」といいながら興味をもつようになった。
- ・ パソコンで調べ学習ができたのでとてもよかったと思う。反面、みんなが使う物だから、大切に使ってほしい。
- ・ 「分からないことがあるから調べてこよ。」と言いながら、家でパソコンに向かう子どもを見て、現代っ子だなと感心している。学校でパソコンを使ったことがあるというので、一人で頑張っていた。
- ・ 家で調べたいことがあると、勝手にインターネットに接続し検索している。まだ習っていないローマ字を使って入力し、結果を印刷している。興味をもって行動することを大変喜んで見ている。
- ・ パソコンは、これからの時代に向けて大切な情報源だと思う。操作方法を習得することも必要なことだと思う。ただ、親自身もそうなのだが、図書室等で図鑑で調べたり資料を探すということをしなくなり、手軽なインターネットで・・・という傾向があるように感じる。
- ・ パソコンは身近にあるので気軽に使っている。怖さも教えつつ、便利に使えていけばいいと思う。
- ・ 家にもパソコンはあるが、親がまだ使いこなしていないせいか、ゲームくらいにしか使っていない。

## (3) 幼・保・小の連携

## (4) 学校支援（支援・参加・参画・評価）

- ・ 親だけでなく、地域の方が参加できるようになったことはとてもよいことだと思う。お年寄

りでないと思われ、教えられないことなどもある。実際の体験は、頭で覚えるだけでなく、確実に身に付くと思う。

- ・ 人間が一人では生きていけないように、学校も学校だけで運営していけない。また、保護者や地域にとっても、学校は必要不可欠な存在であり、積極的に盛り上げていかなければならない。お互いが交流をもつことで、さらに理解が深まると思う。PTAにしても学習支援ボランティアにしても、参加者の素直な意見・感想などを吸い上げ、公にしていれば、支援の輪の拡大や内容の充実が図れるのではないだろうか。
- ・ ボランティアに参加してくれる人が多くてうれしい。私も探検引率補助をしたことがあるが、来年度も機会があれば参加したい。子どもたちの生き生きした様子を見られることは楽しい。
- ・ 学習支援ボランティアの募集があったとき、これはすばらしいことだと思った。身近にいるその道の達人の知恵を借りることは、教科書から得る内容とは違ったものを与えてくれると思う。野菜の作り方など先生方の中でも十分やったことのない方もいらっしゃるのではないだろうか。親の私もやったことがないのだが……。おいしい野菜を作るために努力している点などを教えてもらおうと、子どもたちがおじいちゃんやおばあちゃんの苦勞も分かってくれるのではないだろうか。来年度もぜひ続けていただきたい。
- ・ 学習支援ボランティアの方々のおかげで、子どもたちがとてもいい学びをさせていただいていると感謝している。教科書だけでなく、その道の詳しい方々のアドバイスで、子どもたちは様々な面で意欲的になっているように感じる。
- ・ ボランティアに参加はしたことがないが、子どもと一緒に何かをやるのはとても楽しいと思う。
- ・ 子どもたちと一緒に合鴨農法による米の栽培のお手伝いをさせていただき、楽しく過ごすことができた。食べ物の生産は、安全・安心が基本で、限りなく自然に近い作り方が大切であることを子どもたちに伝えたい。
- ・ スキー大会のワックスぬりや応援等には、保護者をもっと協力できると思う。
- ・ スキー授業でのボランティア募集がなかったが、授業に限らず、ワックス塗りなど協力ができそうなことは、保護者をもっと活用してもよいと思う。その結果、少しでも成績がよければ、みんながうれしいし充実すると思う。
- ・ ぼぶら祭りに、PTAやボランティアの方々をもっとたくさん参加していただきたいと思う。
- ・ これからもどんどん支援していくべきだと思う。保護者ボランティアはとても必要だと思う。
- ・ 小さな学校と違って、親が子どもの学校生活の中で、かわりをもつことが少ないと思う。学校からの声かけがあると、できるだけ協力していきたいと思う。一人では少しの支援しかできないとしても、たくさんの方が集まれば、子どもにとってはたくさんの経験を積むことができるので、これからもどんどん声をかけてもらいたい。
- ・ 学習支援ボランティアに参加してみたい。
- ・ 私もボランティアに参加してみたいと思うのだが、平日に仕事を休んでまではできないのが残念だ。
- ・ 平日、支援していただける方は大変限られてしまう。そんな状況の中、多くの方が「協力していただいている」と思っている。そんな状況の中、多くの方が「協力していただいている」と思っている。
- ・ 21名の方がボランティアに参加されたと聞いてびっくりした。保護者なら、全員参加したい気持ちはあると思う。仕事やら家庭やらでなかなかできずにいて申し訳なく思っている。学校関係者以外でも参加していただいているのだろうか？だとすればすばらしいことだと思う。
- ・ 積極的にボランティアに参加して下さっている方々に感謝の気持ちでいっぱい。私も、子どものために、少しでも力になれるように参加できればいいのだが、時間的に都合が付かずなかなか思うようにいかない。その中で、参加していただいている方々にはとてもありがたく思っている。
- ・ 2年生のボランティアに参加した。その時は3人の人が来てくれた。「もっと来てるかと思ったね。」と人数の少なさを感じたが、子どもの活動を手伝うにあたって、あまり大人が多くてもよくないと思った。
- ・ ボランティアに参加すると、学習参観では見られない姿を見ることができるのでとてもよい。
- ・ 地域の方の協力は、子どもにとって大変よいと思う。いろいろな方から教えてもらうのは、大人に対する見方が変わると思う。

## (5) グランドデザインには盛り込まれていないが、その他の教育環境（整備）

### 3 『樹木に巣を作り、飛び立つ鳥となる学校発信・情報公開を実践して成果の見られた具体的な内容』

#### (1) 学校・学年・学級だより

- ・ 6年生は、自主学習の時間と取り組んだ子の名前がたよりに掲載されるので、競争心が沸き、結果として一人一人の学習時間が伸びていく。そのことが、中学校に行ってから自主学習の習慣になるので、とてもよいことだと思う。
- ・ 週末の家庭学習の様子をたよりに載せていただき、子どもは励まし合いながらも、競いやってきたと思う。
- ・ 学級だよりがたくさん発行されて、子どもたちの様子、先生の考え、親たちの意見や感想等々が分かり、クラスがまとまっていくのでとてもよいと思う。
- ・ 学年・学級だよりは、日々の子どもの変化や様子、出来事、それらに対する先生方の意見、また保護者の感想等がリアルタイムに伝わってきてとてもよかった。
- ・ 学級だよりを毎週いただけてうれしい。1週間の子どもの様子がよく分かる。
- ・ 学年・学級だよりとも、内容がタイムリーで楽しみにしている。
- ・ 毎月家に来る学校だよりは、その時の学校の情報を得るために欠かせないものとなっている。今後もきめ細かな内容を載せてほしいと思う。また、不審者などの情報についても、その都度教えていただけるとありがたい。
- ・ 田沢小学校発信の情報は欠かさず読むように心がけている。
- ・ 学校から発行されるたよりは、親が学校のことを知る大切な情報源。今後も続けてほしい。
- ・ 学校だよりは、最近特に字ばかりで読みづらいうように思う。内容はすばらしい。
- ・ 学校だよりは、学校全体の教育に対する取組が伝わってきて、毎号充実していた。
- ・ 先日の学校だより 23に掲載されていた、村民スキー大会に対してのPTA運営委員会で出された意見について、ある保護者が「まさにその通りだ。あの意見を読ませてもらいうれしかった。」と言っていた。それを聞いた私もうれしくなった。皆が学校からの情報発信に対して注目している証だと思った。
- ・ 学習支援ボランティアで参加していただいている方々を、学校だよりで紹介してもいいのではないだろうか。
- ・ 学校だよりを読むことで、学校の様子が分かり大変楽しみにしている。
- ・ 学校だよりを初めとして、それぞれのたよりはとても楽しみにしている。1枚のたよりから、親子の会話が生まれ、家族の会話へと広がっていく気がする。
- ・ 学校での出来事が大変よく分かる。子どもとのコミュニケーションのきっかけにもなり、親子の触れ合いも一層増える。
- ・ 学校だよりは、紙面が大きくなり読みやすくなった。

#### (2) ホームページ・Eメール・インターネットによる関係機関・地域・家庭とのネットワーク化

- ・ 私も田沢小学校ホームページをたまには意見している。いろいろなことが載っており、楽しく思う。学年にもよるが、各学期ごとに今どの学年が何をしているかなど教えていただけたらと思う。
- ・ PTAのページもようやく立ち上がり、今後の内容の充実を期待している。
- ・ 田沢小学校のホームページが更に内容豊富になることを期待している。
- ・ 田沢小学校のホームページの存在をもっとアピールしてほしい。
- ・ ホームページは不特定多数の人に情報を公開できる唯一の手段なので、今後も田沢小のよいところを掲載してほしい。忙しい中での更新作業は大変だと思うが、お願いします。
- ・ ホームページに何回かアクセスした。もう少し内容が頻繁に更新されるともっとうれしい。
- ・ ホームページを管理したり情報を更新していくのは大変だろうが、がんばって続けてほしい。

- ・ 携帯サイトもあるが、あまり最新の情報が更新されていなくて寂しい限りだ。
- ・ 携帯からも見られるようになったので、より多くの人々が利用しやすくなりよかった。
- ・ パソコンではホームページを見ることができないのだが、携帯サイトを何度か見ることがあった。行事や子どもたちの様子掲載されていてよかった。
- ・ 家にパソコンはあるが、使い方が分からないためホームページを見たことがない。学校のことをもっと知りたいのに、見られないことがすごく残念だ。
- ・ 我が家にはパソコンがなく、アクセスできなくて残念だ。

#### 4 その他、子どもたちの姿を見て、力が付いてきたなと思う点や、もっと伸ばしたいなと思う点

- ・ 先生方だけでなく、いろいろな方々との触れ合い方がよくなってきたと思う。これからは、表面的なことだけではなく、心から触れ合いができることさらによいと思う。
- ・ 恥ずかしがらずにあいさつができたらよいのにと思う。
- ・ 店での買い物のマナーをよくしたい。
- ・ 自分の子どもと違う学年の子にあいさつしたら、きちんと返してくれた。
- ・ 様々な活動で地域の方々にインタビューなどができているのだから、それが家庭のお手伝い(例えば、お使いを頼んで、頼まれた品物がどれか分からなくなったら、お店の人に聞くなど)一人でもできたらと思う。
- ・ 今の子どもたちは自然に触れることが少なくなっているのだから、花や畑、田などにどんどんかわらせてほしい。
- ・ あいさつは、なかなか自分からしてこないのが現実だ。こちらが声をかけても小さな声で返ってくる。学校だけでなく、地域の方々もどんどん声をかけてほしいと思う。
- ・ 冬期間、バス通勤をしていたが、あいさつがとてもよくなったと感じる。子どもからあいさつすることもあり、大変心が温まる。あいさつ運動の徹底のなせる技か、確実に子どもの自主性が伸びていると感じられる。
- ・ 学校内でのあいさつはよくできていると思う。そのあいさつが、家庭や地域でも発揮できればと思う。
- ・ 何年前前は、学校に行っても子どもからあいさつすることはなかったように思うが、今年2月に学校に行ったときは、子どもから「こんにちは。」「さようなら。」とあいさつされ、とてもうれしく思った。
- ・ 田沢小学校の子どもたちのあいさつは、とても元気の良い子と恥ずかしそうに目を背けてしまう子といろいろいる。でも、学校、地域全体であいさつに力を入れているのがよく分かる。このまま続けてほしい。
- ・ あいさつがもっと大きな声でできるといいなと思う。大人も子どもも先生以外でも、どちらからともなく大きな声が出てくる地域を目指したい。
- ・ 高学年のあいさつがもう少しよくなればと思う。
- ・ 地域でのあいさつがよくないことが残念だ。学校だけでなく、外に出ても同じようにあいさつできるよう、地域の方の協力を期待する。
- ・ 学校の活動は、どれをとっても皆生き生きと楽しそうに見えた。先生方の御苦労と御努力を非常に感じている。
- ・ 私の子どもとその仲間に限られたことかもしれないが、積極性に欠ける(変な意味の仲間意識が強い)のでは？と感じる。仲間のだれかが習い事をやめると言い出すと、われもわれもと雪崩現象を起こす。もっと、自分を信じたり自信をもってほしいと思う。家庭では、ゆっくりと親子で話し合い、納得できるように育てていきたいと思っている。
- ・ 人の意見に簡単に左右されない、1本筋の通った人間になってほしい。そのために、「声だけは人に負けたくない。」と、夢中になるものを子どもたちにもってほしいと願っている。
- ・ 自ら考えて積極的に行動する子どもになってもらいたい。この先大人になっても、指示待ち人間にはなってほしくない。